



校長室だより

校長 山崎 聡子

6年生を送る会

3月4日(火)に、6年生を送る会を実施しました。1年生から5年生の子供たちの拍手の中、4年生の代表が持つ花のアーチの中を通過して6年生が体育館に入場しました。児童会が司会・進行を務め、1年生から順番にそれぞれの学年が6年生との関わりの中で感じたことを言葉で表現すると共に、合奏や合唱を交えながら6年生に思いを届ける時間を過ごしました。その中で、温かく見守り関わってくれた6年生に感謝の言葉がたくさん伝えられました。また、すばらしい姿を見せてくれた6年生に、自分も同じように活動していきたいという思いや6年生の思いを引き継いでいくという言葉が伝えていて、下学年の子供たちにとって、最高学年という6年生の存在の大きさを全校みんなで感じる事ができた時間となりました。6年生からも1年生から5年生へ、迫力のある合奏と美しい歌声で合唱を届けてくれました。全ての学年が思いを表現するための工夫がすてきでした。

6年生に向けて、そして6年生が下学年に向けて、お互いの思いを伝え合う時間は、お互いの心に残る思い出の一ページに刻まれたことと思います。

6年生は3月19日(水)に卒業式を迎えます。6年生と学校の中で一緒に過ごせるのも、1年生から4年生までは、本日を入れて残り7日間です。5年生は在校生代表として、卒業式に参加しますから、8日間を6年生と共に過ごすこととなります。

みんなで6年生との時間を大切に過ごしていきたいと思っています。

P T A 活動に感謝

3月5日(水)に、今年度最後のP T Aの役員会・運営委員会が開催されました。1年間、子供たちのために多くの力をいただきました。仕事をされながらも委員をお引き受けくださった皆様、御自身の時間と活動の時間を調整されながら、お力添えをいただいた皆様に心から感謝申し上げます。

運営委員会では、それぞれの委員の皆様から、1年間を振り返る中で、言葉をいただきました。お一人お一人のお話を伺い、胸が熱くなりました。一部ではありますが、御紹介します。

- ・
- ・大変ではあったけれど、有意義な時間であったし、楽しく活動できた。
- ・一緒に仕事をしたメンバーに恵まれ、楽しく活動できた。
- ・本部や学校とのつながりが広がった。
- ・学校や子供の理解が深まった。
- ・本部の人たちが、P T Aを改革しようとしていることを知ることができてよかった。
- ・委員のメンバーでの支え合いだけでなく、本部の人たちも活動を支えてくれた。
- ・

歴代の会長と同じように、現会長も仕事の合間をぬって、何度も学校に来てくださいました。楽しいP T A活動にするにはどうしたらいいのか、みんながやってよかったと思えるにはどうしたらいいのかという視点で、常に考え動いてくださいました。会長と共に、誰もが担えるP T A活動のために歩みを共にしてくださった皆様に感謝申し上げます。